
部活での出来事。(夢才チ)

組長

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

部活での出来事。(夢才チ)

【Nコード】

N3551BA

【作者名】

組長

【あらすじ】

ノリで書いたただの夢才チの駄文。

(前書き)

徹夜明けのノリで書きました。

初投稿がこんな駄文になるとは・・・

突然ですが、俺は死にました。

部活でロボットの機構考えて詰まったと思ったんで、思い切ってコンデンサ繋げまくってコンデンサ爆弾してたんよ。そしたら、先輩が遊びたいというのでそいつに渡して遊ばせてた。まあ、先生来るまでやったらいいだろう。

「んじゃ、片付けよろしく。俺寝るから」

「わかりました〜」

機構考えるのも遊ぶのも飽きたんで寝ることにした。寝るのは部室の前の実習室だ。

30分くらい経って、様子を見に部室に戻る。

みんな集中してるのか、黙々と案をまとめている。

で、ふと見るとコンデンサがそのまま残ってるんだよ。テーブルの隅に。

さすがに片付けんとそろそろ先生くるよな〜って思ったんやけど、片付けといてって言ったのにテーブルの上に残ってるってのにちよつと頭きたんよ。

だから、片付ける前にコンデンサから出てる線持ってその後輩に投げつけようとしたんよ。いつものノリで、触ろうとした瞬間はーん。

あれはやばかったよ。

線同士を近づけるだけで『小さな太陽が生まれる』っていうのにその線剥き出しのところが素手で触ったんよ。

よくある痛いとか熱いとかじゃないんだよね。

もう、形容しがたいってどういうの？説明できんよね。あれ。

で、最後に見たのは驚く部員たちと一人だけ不自然ににやけるやつ。片付けを任せたやつだ。

やられたと思ったね。負けたよ。

そこで俺の意識は飛んだ。

「……っていう夢を見たんだが、どう思う」

と、作業中に部活で唯一同学年の奴に問う。

「知るか。つてか、さっさ作れ」

「はい」

こんなくそ長い説明を一言で捨てたれた。なんてやつだ。

だがまあ、しょうがないか。明日は大会なんだ。

さて、俺もそろそろ作業に集中するか……

(後書き)

ということ、夢オチのしよぼい話です。

てか、ノリで書いてこんなになるとか。

他に何か一般的なネタで書いたほうがよかったかな？

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3551ba/>

部活での出来事。（夢オチ）

2012年1月9日05時53分発行